

インフラ整備70年 講演会(第4回)

～戦後の代表的な100プロジェクト～

「環境への配慮とともに高架から地下へ ～首都高中央環状線47kmの整備の歴史～」

講演者：鈴木 剋之(ショーボンド建設株式会社)
石井 信隆(株式会社大林組)
飯島 啓秀(大成建設株式会社)
大島 健志(首都高速道路株式会社)

<講演プログラム>

1. 首都高中央環状線の計画
 - ・最初の中央環状線構想
 - ・事業実施上の課題
2. 沿道環境への対応
 - ・環境アセスメントの実施
 - ・中央環状新宿線における地下構造の採用とSPM、NO₂対策
3. 新技術・新工法の採用
 - ・大断面シールド工法の全面採用
 - ・シールド切開き工法の採用
4. 大橋ジャンクションの整備とまちづくり
5. 首都高中央環状線の全線開通

2018年

写真提供：首都高速道路株式会社

12月25日(火)

講演会：17：30～19：30（受付開始：17：00～）
親睦会：19：30～20：30

場 所： 政策研究大学院大学 想海樓（そうかいろう）ホール

定 員： 300名

*本講演会は、建設コンサルタンツ協会CPDプログラムとして認定されております。
*講演会終了後、軽食による親睦会を予定しています。
*会費及び申し込み方法は裏面をご覧ください。

首都高中央環状線は、圏央道・外環道とともに「首都圏3環状道路」を形成し、都心から半径約8kmの最も内側に位置する延長約47kmの環状道路である。

最初の中央環状線構想は、昭和39年。その後、昭和40年代に入り交通公害が広く議論されるようになると、環境問題という新たな課題の中で事業を進めることとなった。中央環状新宿線における地下構造の採用やそれを実現するための世界で初めてのNO₂対応、シールド工法やトンネル地中接合技術の開発、大橋JCTの整備とまちづくりの協働等により、最初の構想から約50年の年月を経て、平成27年3月に首都高中央環状線全線が開通、首都圏3環状道路の最初のリングが完成した。

本講演では、本事業主体である首都高速道路公団（現首都高速道路株式会社）から鈴木剋之氏(元理事)、石井信隆氏（元執行役員東京建設局長）、飯島啓秀氏（元東京建設局長）、大島健志（代表取締役専務執行役員）にご講演いただきます。

主催：（一社）建設コンサルタンツ協会 後援：（公社）土木学会

インフラ整備70年講演会(第4回)

「環境への配慮とともに高架から地下へ～首都高中央環状線47kmの整備の歴史～」

会費：

- 講演会のみ参加の場合 : 1,500円
- 講演会+親睦会参加の場合 : 3,500円 (講演会1,500円+親睦会2,000円)

申し込み方法：

- お申し込みは、E-mailをお願いします。
- 申し込みメールは、件名を「**第4回講演会 申込み**」としたうえで、必要事項（申込人数、参加者全員の名前（ふりがな）、所属、連絡先、親睦会参加の有無）を本文に記載の上、下記アドレスをお願いします。
- 申込みを受付した際には、講演会前に案内メールを送信させていただきます。講演会当日に、案内メールを印刷の上、ご持参ください。
- 会費は、会場受付にて直接お支払いください。

申し込み先：

E-mail : infra70@jcca.or.jp (担当：酒井、田原、三浦)

(注意事項)

- E-mail以外でのお申し込みについては、受付できない場合がありますので、ご注意ください。
- お申し込みは先着順となります。定員に達し次第、締め切らせていただきます。申し込みを締め切らせていただいた場合は、協会HPに掲載します。
- 参加をキャンセルされる場合は、極力事前に申し込みメールアドレスに連絡をお願いします。
- ご提供いただいた個人情報本講演会のみで使用し、第三者には提供しません。
- 当日は、講演内容の記録として写真撮影や録画を行います。その写真を建設コンサルタンツ協会ホームページ、広報誌等に掲載させていただくことがございますので、予めご了承ください。

《講演者略歴》

鈴木 克之	首都高速道路公団 東京建設局長、参与、理事を歴任 現在、ショーボンド建設株式会社首都圏北陸支社 顧問
石井 信隆	首都高速道路株式会社 執行役員建設事業部長、執行役員東京建設局長を歴任 現在、株式会社大林組東京本店土木事業部 顧問
飯島 啓秀	首都高速道路株式会社 東京建設局副局長、東京建設局長を歴任 現在、大成建設株式会社 顧問
大島 健志	首都高速道路株式会社 神奈川建設局長、執行役員、常務執行役員を歴任 現在、同社代表取締役専務執行役員

「インフラ整備70年」講演の目的

20世紀後半から今日までの70年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期であり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業の成果そのものであるとあって過言ではありません。それらの事業の記録はさまざま形で残されていますが、それに関わった人々の声を聴く機会は少なくなっています。

今般、(一社)建設コンサルタンツ協会では、戦後のインフラ整備事業の代表的な事例に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、それを記録することで、インフラ整備の意義や携わった人々の偉業を、コンサルタント技術者にはもちろん、広く一般社会に伝えたいと思っています。

そのため、(一社)建設コンサルタンツ協会本部に「戦後インフラ整備事業研究会」を設置し、各種の事業の中から100プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会の協力を得て、それらについての講演会を開催するものとなりました。

<次回講演会予定>

第5回講演会 2019年1月29日(火) 講演会：17:30～19:30 親睦会：19:30～20:30

「渡良瀬遊水地物語 ～治水・環境改善と公園化～」(仮題)

講演者：中村良夫 他

場 所：政策研究大学院大学 想海樓ホール